

# 匂い立つ楽都ウィーンの薫風

## 石井美映とウィーンの名手達

～極上のアンサンブルを聴く夕べ

2016年 9月30日(金)

at MUSICASA

(小田急線・地下鉄千代田線 代々木上原駅東口より徒歩2分)

開演 19:00 (開場 18:30)

全席自由 4,000円(税込)

石井美映 (ピアノ)

### Program

モーツァルト:ピアノ四重奏曲 第1番ト短調 K.478

ハルヴォルセン: ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲

《ヘンデルの主題によるパッサカリア》

シューベルト: ピアノ五重奏曲 長調 Op.114 D.667「鱒」

クリストフ・エーレンフェルナー  
(ヴァイオリン)



ヘルベルト・ミュラー  
(ヴィオラ)



笹沼 樹 (チェロ)



大槻 健 (コントラバス)

《後援》 フランツ・シューベルト・ソサエティー  
NIPPON SYMPHONY

《お申し込み・お問い合わせ》 TEL: 090-4726-1773  
e-mail: piano7mie2@docomo.ne.jp



# ウィーンの名手達とピアニスト・石井美映

～薫り高いアンサンブルに高まる期待～

中野 雄

ピアニスト・石井美映はこれまで、ウィーン・フィルの中核を担ったチェロ奏者アダルベルト・スコッチチなどと、記憶に残るコンサート・ステージを重ねてきたが、今年の秋は更なる飛躍と高みを目指す。

共演する相手は、共に楽都・ウィーンの名手達。指揮者、作曲家としても著名なマルチ・タレント：ヴァイオリニストのクリストフ・エーレンフェルナーと、名門ウィーン交響楽団の首席ヴィオラ奏者ヘルベルト・ミュラーである。プログラムは楽聖・モーツァルトとシューベルトの不滅の名曲。チェロ・パートとコントラバス・パートには、それぞれ本邦期待の若手の精鋭が加わる。

近年、成長著しい石井美映である。ウィーンで誕生した名曲を、本場ウィーンの名手達と奏するという薫り高いアンサンブルで、聴き手の私達を魅了する一夜を演出してくれることだろう。

(なかの たけし：音楽プロデューサー)

Access



MUSICASA  
〒151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1  
Tel.03-5454-0054  
http://www.musicasa.co.jp

MUSICASA

〒151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1

Tel.03-5454-0054

http://www.musicasa.co.jp

## Profile

### ▶ 石井美映 (ピアノ) Mie Ishii, piano

昭和音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。在学中、セルジオ・ベルティカローリ氏のレッスンを受講。第27回ウィーン・ミュージック・セミナーに於けるインターナショナル・サマー・コースでエリカ・ディヒラー教授に師事、ディプロマ取得。バーデンでの演奏会、シューベルトが受洗したりヒテントール教会での終了演奏会に出演。帰国後、東京オペラシティ・リサイタルホールに於ける参加者によるコンサートに出演。2003年には、元ウィーン・フィル首席フルート奏者の故ウェルナー・トリップ氏から指導を受ける。様々な音楽教室での講師を務めながら、声楽伴奏、合唱団での伴奏ピアニストとしても活動。これまでに、ピアノを金井紀子、北川正、本多昌子、吉田俊子の各氏に師事。

### ▶ クリストフ・エーレンフェルナー (ヴァイオリン) Christoph Ehrenfellner, violin

ザルツブルク生まれ。オーストリアの若手音楽家のなかでも極めて多彩な才能を発揮し、ヴァイオリニスト・作曲家・指揮者として幅広く活躍する。最近ではドイツ・ノルトハウゼン歌劇場の招聘アーティストとして、2017年に向けてオペラ・バレエ・交響曲の作曲を手掛けている。メキシコ・シティ・フィルハーモニー管弦楽団、モーツァルト管弦楽団客演指揮者。2011年から2015年まで、シンフォニエッタ・バーデンの首席指揮者も務めた。作曲家としても、小澤征爾アカデミー、ムルハウス・シンフォニー・オーケストラ、ウィーン・フィルのクラリネット奏者、マティアス・ショーンがプロデュースする音楽祭パルムクラングなどに招聘されている。マラー室内管弦楽団、カンマーフィルハーモニー・アマデー、ウィーン青少年管弦楽団等ではゲスト・コンサートマスターを務める。BBC、ORF、NHKやスロヴァキア放送にて代表的なソロ曲・室内楽曲を録音、6枚のCDを

リリースしている。室内楽の演奏にも熱心で、国際的な音楽祭にも招かれている。グラーツ音楽大学のオーケストラで後進の指導に当たる。ウィーン楽友協会を本拠地とするスナ・クム・ラウデ国際青少年音楽祭コンクール常任審査員。日奥文化協会名誉会員。2015年より、オーストリアで開催されるアレグロ・ヴィーヴォ国際室内楽音楽祭で、若き音楽家たちのオーケストラ・室内楽クラスの指導責任者を務める。

### ▶ ヘルベルト・ミュラー (ヴィオラ) Herbert Mueller, viola

1957年ウィーンに生まれる。1981年ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学を首席で卒業、その後ウィーン音楽大学にてジークフリート・フューリンガー教授に師事。1980年よりウィーン交響楽団に所属。1986年首席ソロヴィオラ奏者となり、これまでにラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス、レオポルト・ハーガー、ウルフ・シルマー、ペーター・ギェルケ、ファビオ・ルージ、フィリップ・ジョルダンをはじめとする指揮者たちと共演。ポーランド、エジプト、ウクライナ、ポルトガルなどを頻りに訪れ、ソロ奏者としても国際的に活躍している。室内楽への取り組みも熱心で、長年に亘りグリーンカ・アレンコフ・カルテットや、ウルフ・ヴァリンが首席ヴァイオリンを務めるウィーン・コンセルティーノ室内楽団とともに、トリオからオクテットまで幅広く演奏。ウィーン・コンセルティーノ室内楽団とはオーストリア国内外の音楽祭にも参加し、ヨーロッパ各国・アメリカへのツアーを行った。近年ではクレス・ミュラー・スコッチチ弦楽トリオ、ウィーン・東京カルテットで活躍し、スイスと日本でレコーディングを行った。1992年から1994年まではウィーン音楽大学にて師匠フューリンガー教授の助手を務め、1994年現職ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学教授に就任。

### ▶ 笹沼 樹 (チェロ) Tatsuki Sasanuma, cello

1994年生まれ。第65回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部第1位及び日本放送協会賞受賞。第10回ビパホールチェロコンクール入賞及び聴衆賞受賞。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位。第12回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。第83回日本音楽コンクールチェロ部門入選。クールシュペール夏季国際音楽アカデミー、北九州国際音楽祭、十勝音楽祭、Melbourne Cello Festival、Piatigolsky International Cello Festival等に参加。2010年より霧島国際音楽祭に参加、霧島国際音楽祭賞を受賞。これまでにマキシム・ヴェンゲローフ、イヴリー・ギトリス、2cellosらと共演。これまでに新日本フィルハーモニー交響楽団等と共演。カルテット・アマビレのメンバーとしても活動し、松尾財団松尾音楽助成、ミュージックアカデミーinみやぎにて講師特別賞、リゾナーレ室内楽セミナー奨励賞受賞。第65回ARDコンクール(ミュンヘン国際コンクール)弦楽四重奏部門本審査の出場を認められる。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)チェロ科を首席卒業。桐朋学園大学ソリストディプロマコース在籍中、並びに学習院大学文学部ドイツ語圏文化学科4年在学中。これまでに室内楽を、堤剛、徳永二男、藤原浜雄、三上桂子、佐々木亮、原田幸一郎、毛利伯郎、銅銀久弥、磯村和英、山崎伸子の各氏に師事。これまでにチェロを、ヴァーツラフ・アダミラ、古川展生の各氏に、現在堤剛氏に師事。桐朋学園チェロアンサンブル・サイトウ奨学生、ヤマハ音楽奨学生、ロームミュージックファンデーション奨学生。

### ▶ 大槻 健 (コントラバス) Ken Oostuki, contrabass

1994年生まれ。奈良市立一条高等学校を卒業後上京し、東京芸術大学音楽学部4年在学。今までにコントラバスを、林武寛、永島義男、池松宏、吉田秀、西山真二の各氏に師事。カトリーヌ・ロタル、ティエリー・バルベ、トーマス・マーティン、クラウス・シュトルのマスタークラスを受講。第二回Japan International Contrabass Festival Solo Competition 1位。東京芸術大学モーニングコンサートに出演。